

広報 つばめ

子ども版

平成25年
10月15日発行
Vol. 2 第2号
広報つばめ「子ども版」
2013.OCT



●もくじ

とくしゅう し きゅうしよく うんめい とくしゅう くろく かんしや
特集①「みんなの知らない給食の運命」…2 / 特集②「みんなの苦勞に感謝しよう! いつもおい
がっこうきゅうしよく とくしゅう くがみやま しぜん ひみつ へんしゅうこうき
しい学校給食」…4 / 特集③「国上山」自然の秘密…6 / 編集後記…8

この広報つばめ「子ども版」は、13人の子ども記者が3ヵ月かけて企画・取材・編集を
おこな せいさく なんと かいぎ かせ いっしょうけんめいつく らん
行って制作しました。何度も会議を重ねて一生懸命作りましたのでどうぞご覧ください。

みんなの知らない給食の運命

チームAでは、給食について、『環境センター(ゴミ焼却場)』と『給食センター』に行き、給食誕生から、残された給食がどんな運命を送っているのかを取材してきました。

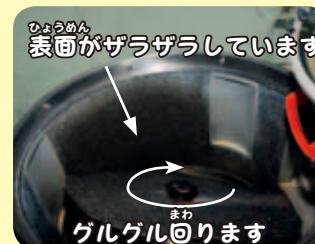
給食誕生！

まず給食センターに行き、給食がどのようにできているのか調べました。給食の材料は、なるべく近くの「とうふ屋・みそ屋・八百屋・農協」などから買っているそうです。

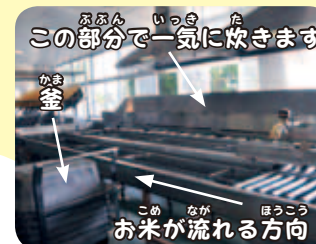
野菜の皮むきには、石のような物に水をながしながら皮をむく「ピーラー」という機械を使います。そして、虫やごみをとるために水槽で何回も洗います。

次に、ご飯の炊き方ですが、まず「洗米機」という機械でお米を洗います。タンクからお米が洗米機に流れてきて自動で洗うことができます。そして一気ににお米を炊く機能が付いています。

そのほかにも90度まで温度が上がったものを10度以下にする機械や、いちよう切りをする機械もあります。いろんな道具を使って、わたしたちの給食は作られているのです。



▲この中に野菜を入れて回しながら皮をむきます。



▲この機械で、ご飯を一気に炊くことができます。



▲扉を閉め、中を真空にするこ
とで、熱いものを冷まします。

給食、最後の試練…

環境センターでは、ゴミを焼却したり、資源ごみとして回収されたペットボトルを職員の手作業で分別したり、残飯などをたい肥にしています。今回は、残ってしまった給食がどうなっているのか調べました。

環境センターには、一日平均1t(1000kg)の野菜などの切りくずや残飯が搬入されます。この中に給食の残飯が含まれています。この残飯は家庭菜園などで使う「たい肥」に加工されて、燕市と弥彦村の希望者の皆さんに無償で配られます。

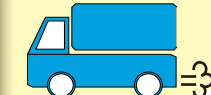
たい肥に加工するとき大変なことは全て機械がやってくれますが、水分や油が多いときに、たい肥のき方に影響が出てきます。時間も余計にかかってしまうそうです。そして、皆さんに提供する量も決まっているので、製品として出せるようにしていくのが大変なのだそうです。

給食センター



▲残飯をくだいて水分を抜きます。
▲各学校から出た給食の残飯

トラックで 環境センターへ



▲土ゆたかというたい肥になります。
▲生ごみ処理機で残飯を熟成させます。

まとめ！

取材をして思ったことは、環境センターの皆さん、給食センターの皆さんに感謝して、環境のためにもごみを減らし、学校給食も残さないようみんなが心がけなければならないことです。(竹内)

給食センターの人たちが一生懸命作っている給食なので、みんなには、好き嫌いがなく食べてほしいなと思いました。(長谷川)

環境センターに行つて分かった事はカンはカン、ピンはピンにわけてほしいということが分かりました。(諸橋)

広報つばめの取材で給食の運命を知ることができました。また給食を残してもたい肥にできるのでムダではないけど、やっぱり残さないでほしいです。(藤崎)

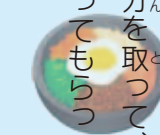


つばめ やひこそうごう じ むくみあい
燕・弥彦総合事務組合
かんきょう 環境センター センター次長
まえやま 前山 幸一 さん



よしだきゆうしよく 吉田給食センター
えいようしゅさ 栄養主査
おきた なかこ 沖田 伸子 さん

吉田給食センターでは、約16人のメンバーで約2100食を作っています。給食の一番人気は、カレーライスなどです。皆さんが好きなメニューは残飯の量が少ないですが、特に野菜中心のおかずのときは残っている量が多いので、いかにみんなに食べてもらえるか味付けや調理方法、切り方を工夫しています。残飯は、厨房処理機という機械で水分を取って、残ったものだけを業者さんに持って行つてもうつています。



皆さんに伝えたいことは、ゴミを分別し、食べ残しを少なくしてもらえばゴミが減ってくるということです。ゴミを減らすことでこのようなものが削減されます。ゴミを処理するにはお金や人が必要になってきます。食べ物の好き嫌いは健康には良くないし、調理員の皆さんがせっかく作ってくれた給食を捨てることになってしまいますので、残さないようにしてほしいと思います。



よしだきゆうしよく 吉田給食センターの皆さんと

燕市で盛んに栽培している野菜は、トマト、ナス、長ネギ、キュウリの四種類です。特にトマトが新潟県で2位で盛んに栽培しています。今、新しく育てている野菜は、タマネギ、アスパラガスです。野菜を育てる人数は、種類によって違いですが、多い種類は5、6人で、少ない種類は1人です。

野菜を作っているとき困るのは、翌日に収穫しようと思っていた野菜をカラスなどの鳥に食べられる事があるのです。このほかにも野菜を食べる虫もいて、キャベツや白菜などは青虫類が、葉っぱを食べてしまい出荷できなくなります。

トマトなどは、アブラムシが付けば生育が悪くなります。土の中だと、コガネムシの幼虫が根をかじるので大変です。おいしく作っているので、残さず食べてください！

人気ナンバー1のメニューは、定番カレーライスです。これから出そうと考えているメニューは、『糸うり』を使ったあえものです。おいしいと思うので楽しみにしてください。一度の給食に、どれくらい地の元の食材を使っているかというと、『肉じゃが』だと、吉田の中学校分で玉ねぎは96 kgでジャガイモはなんと154 kgも使っています。毎日の給食を調理するうえで大変なところは、大量調理なので炒め物がシャッキと仕上がらなかったり、出来上がりがイメージ通りにならないところです。

皆さんに伝えたいのは、「安全で新鮮なもの食べてほしい」、「好き嫌いなく食べてほしい」、「家で野菜作りをしている人は、ぜひ手伝って、残さないで食べてほしい」、「最後においしく食べてほしい」この4点です。

まとめ

野菜を育てるといのはとても大変なことが分かりました。

給食を食べるときは、みんなの苦勞があるので残さず食べたいです。今までは、苦勞をあまり感じていなかったのですが、これからは、感じながら給食を食べたいです。

燕市の学校給食は、栄養士さんだけでなく、さまざまな人の協力（きょうりょく）でいつもおいしい給食（きふく）が食べられるんだなと思いました。これからの給食（きふく）は、残さず（のこさず）おいしく（おいしく）食べていきたい（たべたい）と思いました。



えちごちゅうおうのうきょう
越後中央農協
つばめえいのう
燕宮農センター
てらだ よしゆき
寺田 嘉之 さん

野菜の事ならおまかせ



よしだきゅうしょく
吉田給食センター
えいようしょくいん
栄養職員
はやき こずえ
早木 梢さん

おいしい給食をお届け



▲吉田給食センターの皆さん
とパチリ！

【問題②】…②しろなす(皮が白いなすで、市内で栽培されています)

【問題①】…②ひしゃく(家庭用のおたまより大きいサイズです)

給食クイズの答え

きゅうしょく **給食センター** で あ **みな** 皆 さん ！

きゅうしょく
いつもおいしい給食ありがとう！



チームBでは、^{つばめし}燕市の^{のうさんぶつ}農産物がどのように^{きゅうしょく}給食に^{つか}使われているか^{しら}調べました。



えちごちゅうおうのうきょう
▲越後中央農協・
つばめえいのう
燕営農センター



▲給食センターに野菜を提供している皆さん

どれも同じに見えるなす！
 しかし、ちゃんと名前がある！

燕市では『なす』の栽培が盛んで、いろいろな種類が作られています。例えば、『みずなす』、『十全なす』などです。『みずなす』は、少し細長く、下の方が少し太くなっている形です。『十全なす』はきんちゃくのような形で、皮・果肉が柔らかいのが特長です。

なすは、育てるのが太変！ なぜなら、種から苗を作って植えて、毎日の作業があり、虫がついたり、病気になったり、予防しないといけません。給食にも入っていますので、苦労して食べましょうね！

とってもおいしい給食の
ナゾを解き明かせ！

燕市の学校給食には、数々のナゾがありま
 す。例えば「給食ができるまで」。給食は、
 献立を考える人から作る人、完成した給食を
 燕市内の小中学校へ運ぶ人など、いつも当
 り前のように食べている給食も、たくさん
 の人たちが一生懸命作っています。まず、献立
 を考えている栄養士さんは、給食を食べるわ
 たしたちの好みを考えて献立を作ります。エ
 ネルギーやバランスも考えているそうです。
 次に、給食を作る調理員さんは、たくさん
 の人数がいます。わたしたちがおいしく食べ
 くれることを想像しながら、心をこめて作
 てられています。そして、完成した給食を
 燕市内の小中学校へ運ぶ人は、完成したの
 鮮度や温度を目的地まで保つようにしてい
 ます。おいしい給食を食べてもらうためです。
 これが、「給食ができるまで」のナゾでした。

きゅうしよく なに
給食クイズ これは何でしょうか？



もんだい
【問題①】
①おたま
②ひしゃく
③スプーン



もんだい
【問題②】

①はくなす
②しろなす
③みずなす

みんなの苦勞に感謝しよう！
いつもおいしい学校給食



「国上山」自然の秘密

わたしたちの住んでいる燕市にきれいな景色が見える、国上山があることを知っていますか？ 国上山は、暖かい所を好む植物と寒い所を好む植物と一緒に生息している珍しい山です。そこで森林インストラクターの増田さんにお話をきいてきました。

国上山の今むかし…

日本の山が劇的に変わったのは約60年くらい前の人の生活が石油文明に変わったときです。それまでは山でしば刈をしたり、川で洗濯をしたりなど桃太郎のような生活をしていました。それが昭和時代中頃まで続きました。それから日本の山は、杉だらけになって、花粉症が広がりました。それまでは、花粉症の人はいませんでした。しかし、国上山には昔の里山の姿が、今も少し残っているのです。



▲森林インストラクター・国上山ボランティアガイドの増田さん

ブナ林ってなに？

『ブナ林を大切にしましょう』ということで、新潟県の天然記念物となつています。国上山には、ブナ林が標高の低いところにもたくさんあります。こんな低いところに、たくさんあるのは珍しいのだそうです。こんなすこいブナ林が、燕市にあると思うと、とてもうれしくなりますよね。また、国上山には『暖かい所が好き』『植物』と『寒い所が好き』が一緒に生息しているのです。どうしてか疑問に思いませんか？ わたしたちも最初は疑問でした。でも話を聞くと、『暖かい所が好きな植物』と『寒い所が好きな植物』が生えることができる境目が、ちょうど新潟県にもあるのだそうです。だから国上山には、たくさん植物が生えているのです。

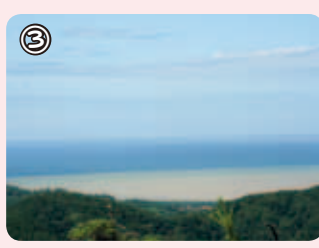
国上山で出会った植物や風景



①



②



③



④

①やマウルシ。さわると手がかぶれる。
②五合目の案内石碑。山頂まであと半分。
③登山の途中で、寺泊の海が見えました。
④とても大きなキノコもありました。

植物の種類はどれくらい？

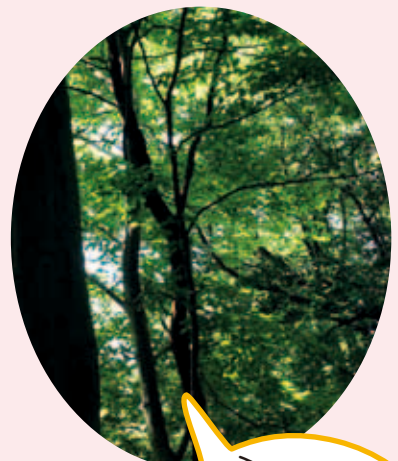
国上山は植物や生き物がたくさん生息している感じがしませんか？ そのハテナをわたしたちがなくてあげましょう。

まずは植物の種類から教えましょう。「種子植物」816種類。「シダ植物」68種類。「苔類」は残念ながら不明です。次に動物・昆虫です。「哺乳類」(狸・テン・ねずみ・こつもりなど) 20種類。「鳥類」125種類。「蝶類」は68種類。「バッタ」は56種類。こんなにたくさん生き物がいるんですね。これで全部ではないかもしれませんが。発見されていない生き物もあるそうです。もっと知りたい人は調べてみてください。



▲国上山にある展望台から見た景色です。街並みをとってもきれいにすることができます。

国上山でつけたキノコや昆虫など



天然記念物のブナ林



日陰にあった白いキノコ

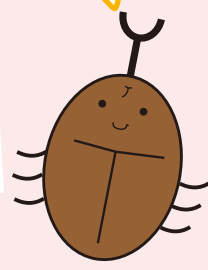


▲こんな大きな「蛾」にも遭遇しました



▲国上山の山頂で増田さんと一緒にパチリ！

国上山にあそびにきてね！



まとめ
最初はどんな虫がでてくるか？ ドキドキしたけど、山頂からの景色は、ドキドキを消してくれるほどステキでした。なので、皆さんも国上山に遊びに行つて、いろんな昆虫・植物を見つけてほしいと思います。

取材・編集を終えて、13人の子ども記者の皆さんから、楽しかったことや大変だったことなど、感想を聞きました。



吉田北小6年
竹内 美空
(チームA編集長)

下書きは大変だったけど取材は楽しかったです。知らなかったことがいっぱい分かりました。とてもよい思い出ができたので、よかったと思いました。



吉田北小6年
長谷川 楓

子ども記者として、よい経験でした。取材がとても楽しかったです。リード文や本文をまとめるのは大変だったけど、楽しかったです。とてもよい思い出になりました。



燕西小5年
藤崎 隼大

広報つばめの子ども記者をやってカメラの使い方、給食の運命を知ることが出来よかったです。男子は1人だったけど、すごく楽しかった。来年もやりたいと思います。



吉田南小5年
諸橋 姫向

わたしが取材に行っても大変だったことはカメラが重かったことです。みんなで協力して大変なこともあったけど頑張れてよかったです。また来年もやりたいと思います。



燕東小5年
若月 美結
(チームB編集長)

初めての取材でした。最初は緊張したけどしっかりとできたのでよかったです。また、カメラで撮るのはなかなかないのでよい写真が撮れてよかったです。



吉田北小5年
阿部 詩央里

インタビューをするときは緊張したけど、とてもよい経験でした。友だちもできて、楽しかったです。また写真は、思ったより大変でした。



分水小5年
箱田 有咲

取材や編集など、初めてのことはばかりで大変だったけど、友だちもできて、とても良い経験でした。取材は大変だったけど楽しかったです。



小中川小6年
丸山 莉加

はじめは友だちができるかどうか不安だったけど、取材や編集などを通してチームBの人たちと仲良く協力して子ども広報が作れたので、とても良かったと思います。



燕西小5年
高桑 舞
(チームC編集長)

インタビューのときに言われたことを素早くいねいにメモを取るのが大変だったけど、うまくメモが取れてよかったです。楽しかったので応募してよかったです。



燕西小5年
落合 莉子

いろいろな体験が出来て楽しかったです。友だちもたくさんできてよかったと思います。とてもよい経験になりました。応募してよかったです。



燕西小5年
大橋 ニカ

この経験で、友だちもでき、燕のこともよくわかってよかったと思います。特に、みんなで楽しくやれたのが印象に残りました。



燕東小5年
佐藤 里紗

わたしは、取材の編集が大変かと思ったけど、みんなで協力してすごく早めに終わることができたのでよかったです。とても楽しかったです。



吉田南小5年
柴宮 千明

子ども記者をやって、違う学校の人々と友だちになれたので、また来年もやりたいです。編集のやり方なども分かったので、子ども記者に応募してよかったです。

- 発行／燕市
- 編集・企画／広報つばめ「子ども記者」・燕市
- 〒959-0295 燕市吉田西太田1934番地
- ☎0256・77・8363 (直通) ●FAX 0256・77・8305
- koho@city.tsubame.niigata.jp